



第145期 中間報告書

(平成22年3月1日から平成22年8月31日まで)



松竹株式会社

松竹株式会社

代表取締役社長 迫本 淳一



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は第145期第2四半期連結累計期間（平成22年3月1日から平成22年8月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績並びに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、対外経済環境や企業収益の改善、個人消費の持ち直しにより回復の兆しが見られたものの、欧州を中心とした海外景気の下振れ懸念や円高の影響、長引く雇用不安により、依然として厳しい状況で推移いたしました。

映画業界は、「アバター」の世界的な大ヒットにより、ハリウッドを中心に3D映画の製作が今まで以上に盛んになってきており、「アリス・イン・ワンダーランド」「トイ・ストーリー3」も興行収入100億円を超え、近年低調だった洋画が健闘しました。この洋画の好調に伴い、興行状況は入場人員8,440万人（前年比104%）、興行収入1,027億2,600万円（前年比104%）と、前年を上回り年間2,100億円に届く勢いです。また、全国スクリーン数も3,408スクリーンと、前年よりも12スクリーン増加しました。しかし一方で、ビデオグラム市場の冷え込みは止まず、映像関連事業全体では厳しい状況が続いております。

演劇業界は、伝統文化の歌舞伎やミュージカルをはじめ、魅力ある演目や人気俳優による話題性の高い舞台が評価されましたが、経済情勢の影響もあり、歌舞伎、一般演劇を問わず、演劇の興行は厳しい状況が依然続いております。

不動産業界は、オフィス空室率の増加、賃料の下落等、市場の悪化は止まず、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループはより一層の経営の効率化を図るとともに、積極的な営業活動に努めて参りました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高43,121百万円（前年同期比92.7%）、営業利益1,829百万円（同94.0%）、経常利益1,023百万円（同82.8%）となり、特別利益107百万円、特別損失102百万円を計上し、四半期純利益372百万円（同45.5%）となりました。

なお、当社の中間配当につきましては、通期業績に不透明要因が残ることから、誠に遺憾ながら見送らせていただきます。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

映像関連事業

【配給】邦画5本、洋画3本、アニメ1本、シネマ歌舞伎1本の計10本を公開いたしました。特に、シニア層をターゲットにした「RAILWAYS 49歳で電車の運転士になった男の物語」は、家族の温かいドラマが受け入れられるとともに、鉄道ファンからも支持され、健闘いたしました。また、夏休みのファミリー向け作品である「きな子～見習い警察犬の物語～」は、モチーフとなった香川県に実在する見習い警察犬“きな子”のキャラクターが可愛く、話題となり、好成績をあげました。しかしながら、若年層をターゲットとした作品が苦戦し、期待の成果を残せず厳しい結果となりました。

【興行】「アリス・イン・ワンダーランド」「インセプション」等の作品が健闘いたしました。特に昨年間興行収入で全国ナンバーワンとなった新宿ピカデリーは、夏興行において、7月に入場人員並びに興行収入がオープン以来の月計新記録を達成し、続く8月にはその記録をさらに更新いたしました。

【テレビ制作】装いを新たに「赤かぶ検事奮戦記」シリーズや、高視聴率を獲得した藤田まこと追悼記念作品「必殺仕事人2010」、好評を博した「鬼平犯科帳6」等、6作品8本を制作いたしました。中でも実在の天才心臓外科医の物語を描いた「外科医 須磨久善」は意欲的な作品として評価を得ました。また、権利ビジネスでの番組販売も順調に稼働し、特に「必殺DVDマガジン」では、書籍とDVDをセット販売いたしました。

【映像ソフト】「釣りバカ日誌20ファイナル」「おとうと」「抱擁のかげら」等の劇場公開作品に加え、テレビアニメ

「うみものがたり」「夢色パティシエール」をシリーズで販売いたしました。ライブラリー作品では、2008年に放送されたアニメシリーズ「ARIA」の「ARIA The ORIGINATION」DVD-BOXを発売した他、「男はつらいよ」シリーズのBOX商品や、「釣りバカ日誌」シリーズ全巻を収録した「釣りバカ日誌 大漁箱」を販売いたしました。

【テレビ放映権販売】地上波・ゴールデンタイム放送枠の予算低迷に伴い、映画専門番組枠の減少が続く厳しい状況の中、主力となる地上波放送向けに「男はつらいよ 柴又慕情」「築地魚河岸三代目」「鬼平犯科帳」を、またBS放送向けには「カムイ外伝」「GOEMON」を販売いたしました。

【海外向け作品販売】各国の映画マーケットの冷え込みから、配給会社の淘汰や作品の買い控えが続く中、円高も加速し、全般的に邦画の海外販売は苦戦しております。そのような厳しい状況の中、北米の最大手おもちゃ会社への「トミカヒーロー レスキューフォース」のライセンス販売に成功しました。

【CS放送事業】連結子会社の(株)衛星劇場において、HD放送やIPTV放送等、高画質化とプラットフォームの多様化を進めました。

演劇事業

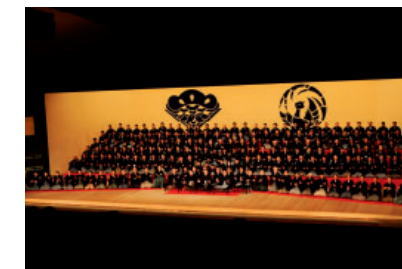
【歌舞伎座】平成21年1月から開幕いたしました「歌舞伎座さよなら公演」は、大詰めを迎えた本年3月、4月に「御名残大歌舞伎」と銘打ち、二ヶ月連続三部制興行を行い、また最終日となる4月30日には「歌舞伎座閉場式」を開催し、上半期の業績に貢献いたしました。



「RAILWAYS 49歳で電車の運転士になった男の物語」
©2010「RAILWAYS」製作委員会



歌舞伎座平成22年4月
「助六由縁江戸桜」
©松竹株式会社



歌舞伎座平成22年4月
「閉場式」
©松竹株式会社

上半期の概況

【新橋演舞場】歌舞伎座の閉場に伴い、「五月花形歌舞伎」から歌舞伎公演を引き継ぎ、好成績を収めました。

【大阪松竹座】大阪松竹座で初めての「團菊祭五月大歌舞伎」が大きな話題を呼び、また「七月大歌舞伎」も好評を博し、ともに収益をあげました。夏の『関西ジャニーズJr. 大阪松竹座 夏8月 特別公演「少年たち ～格子無き牢獄～」』公演も好稼働いたしました。

【南座】「坂東玉三郎特別舞踊公演」が話題を呼び好評を博しました。

【その他の松竹主催公演】日生劇場は、滝沢秀明主演による「滝沢歌舞伎」が「滝沢演舞城」に負けない高い評価を得ました。シアターコクーンは、「コクーン歌舞伎」の新作「佐倉義民傳」が話題を集め、まつもと市民芸術館での公演と併せ、好成績を収めました。三越劇場では新派公演「香華」が好稼働し、好評を博しました。

【巡業公演】恒例の「第二十六回四国こんぴら歌舞伎大芝居」、公文協主催の「松竹大歌舞伎」東コース、中央コースが奮闘しました。御園座などの他劇場の公演製作も、情勢の厳しい中で一定の収益をあげ、特に赤坂ACTシアターの「赤坂大歌舞伎」は収益に寄与いたしました。

【海外公演】市川海老蔵による「義経千本桜」をロンドン、ローマで上演し、国際文化交流に貢献しました。また、国内での凱旋公演も好調に推移しました。

【シネマ歌舞伎・METライブビューイング】シネマ歌舞伎は、「蜘蛛の拍子舞」「身替座禪」と知名度のある作品を2本立てで上映し、堅調な収益をあげました。またMETライブビューイングは、MET2009-2010の後半作品と、アンコー

ル上映として「トゥーランドット」「カルメン」等18作品を上映し、人気を博しました。

【その他の演劇関連】5月よりチケットシステムの機能アップを行い、東西のチケット松竹および会員組織を統合するとともに、サービス面での利便性を向上させました。また、権利販売において、「歌舞伎座さよなら公演」DVD化への映像使用料および印税が収益に貢献いたしました。

不動産事業

不動産賃貸は、新宿松竹会館、築地松竹ビル（ADK松竹スクエア）等が順調に推移し、安定収入の確保に貢献しました。東劇ビルもテナントの一部入れ替えがあったものの、ほぼ満室稼働が続いています。開発に関しましては、東銀座の松竹倶楽部ビルが3月に竣工し、満室稼働となりました。松竹新木場倉庫においては、敷地面積10,664平方メートル、延床面積22,850平方メートルの4階建て賃貸用倉庫建設が7月に竣工し、長期の賃貸を開始しました。

その他の事業

プログラム・キャラクター商品は、「劇場版 銀魂 新訳紅桜篇」「アリス・イン・ワンダーランド」「インセプション」等が健闘し、手堅く利益を確保しました。

また、イベント事業においても、大手遊園地や大型百貨店からの定期的な受注に加え、文化催事や物販催事等、幅広く展開しました。春休みにはオリジナル企画を、夏休みには、例年好評を得ている、連結子会社の松竹芸能㈱とおぼけ屋敷を合同でプロデュースし、予想を上回る動員数を記録しました。



シアターコクーン平成22年6月
「佐倉義民傳」
©松竹株式会社



松竹新木場倉庫
©松竹株式会社



閉ざされたおぼけ屋敷
©松竹株式会社

今後の見通し

当社グループは、企業価値を高め、あらゆる世代のお客様に喜んでいただける映像・演劇コンテンツを創造して参ります。そのために、新たな取り組みやコスト削減を実施し、コンテンツの充実を図ることで、利益の向上を目指します。一方で、強固な経営基盤を確立させ、社会から信頼される企業を目指し、コンプライアンス経営の強化に取り組み、企業価値のさらなる向上に鋭意努力して参ります。

また、当社グループの中核事業である映像・演劇事業は、予想と実績の乖離が大きいという特性を踏まえ、安定した収益基盤を着実に強化し、事業を展開いたします。

映像関連事業は、映画製作・配給につきまして、人気コミックの映画化作品「BECK」、男女逆転時代劇大作「大奥」、ハリウッドアクションスター勢揃いの「エクスペンダブルズ」、ハリウッド映画のリメイクで、日韓人気俳優の共演で話題の「ゴースト もういちど抱きしめたい」、正月映画として期待の高い「武士の家計簿」を柱に、邦画6本、洋画1本、アニメ1本、シネマ歌舞伎2本の公開を控えております。今後も時代のニーズをとらえた作品の提供に努めるべく、邦画・洋画を問わずお客様に喜んでいただける、バリエーションに富んだ作品を厳選して揃え、1本1本丁寧な営業・宣伝・販売活動に邁進すると同時に、厳しい市場環境も踏まえて収益性を精査して参ります。

映画興行は、当社配給作品の他に、シリーズ初の3D作品である「パイオハザードM」、ついに完結となるシリーズ最終章の前篇「ハリー・ポッターと死の秘宝 PART1」等、洋画期待作を公開いたします。また、今後ますます進んでいくと想定されるデジタル化へ対応すべく、映写設備のデジタル化の推進を図って参ります。

テレビ制作は、好評の時代劇シリーズやサスペンスドラマに止まらず、新たな企画制作に挑戦して参ります。また、権利ビジネスの番組販売も、地上波だけでなく、CS局、BS局へも積極的に参ります。

映像ソフトは、自社配給作品の新作タイトル販売益の最大化を図るとともに、今後は新規販路への拡販にも積極的に取

り組み、「小津安二郎監督作品」や「鬼平犯科帳シリーズ」等のライブラリー作品を出版社と組み、書店ルートで販売展開し、収益拡大を目指して参ります。

演劇事業は、歌舞伎座が3年間休館となりますが、その間も引き続きお客様に満足いただけるよう、歌舞伎座に代わって歌舞伎公演を新たに担った新橋演舞場を中心に、大阪松竹座・南座の関西直営劇場、各座での公演、旅巡業等で、恒例となっている公演から新作まで幅広く展開し、安定した収益の確保に努めます。また、「シネマ歌舞伎」「METライブビューイング」も引き続き充実した作品を提供して参ります。

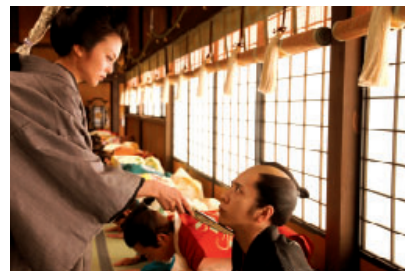
不動産事業では、景気不安定、オフィス賃貸低迷の中、各テナントとの交渉が続くこととなります。これまで以上に業界の動向に関わる広範かつ確かな情報の入手に注力し、テナント戦略を創意工夫して参ります。特に、有楽町センタービルに関しましては、来年4月末退店が決まっている西武百貨店の後継テナントに有力企業を予定しております。さらに、歌舞伎座の建替え計画につきましては、9月に解体を終え、10月より平成25年春竣工に向け建設工事を開始いたしました。新しい歌舞伎座で、歌舞伎が次世代に向け継承・発展し、さらに新たな日本の文化発信拠点として寄与すべく、今後とも関係各所との調整を図り、進めて参ります。

その他の事業は、景気低迷による一般顧客の買い控えにより、劇場関連商品の購買を如何に引き上げるかが急務な課題となっております。プログラム・キャラクター商品は、付加価値を持たせることで、より魅力ある商品展開をして参ります。また、歌舞伎座建替えに伴い、「わが心の歌舞伎座展」等、イベント事業にもより一層力を入れて参ります。「松竹歌舞伎検定」に関しましては、昨年実施した3級、4級に加え、本年は2級を実施し、歌舞伎ファン層の拡大に寄与したいと考えております。

以上、当社グループ一丸となって数々の課題に果敢に挑戦することにより、企業価値の向上に努めて参ります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



「BECK」
©2010「BECK」製作委員会



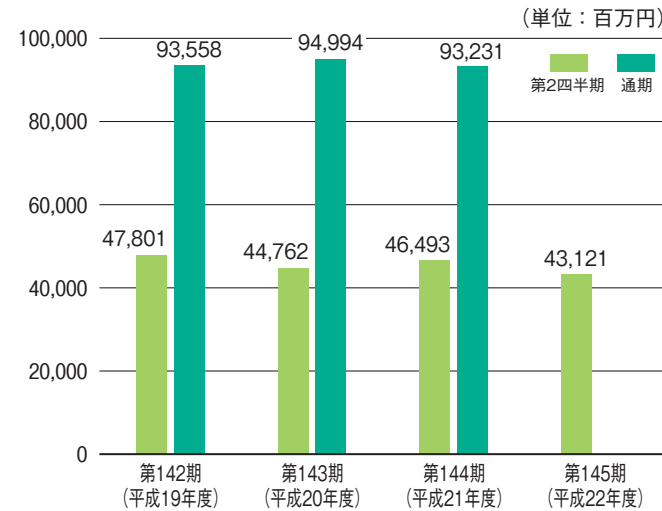
「大奥」
©2010男女逆転「大奥」製作委員会



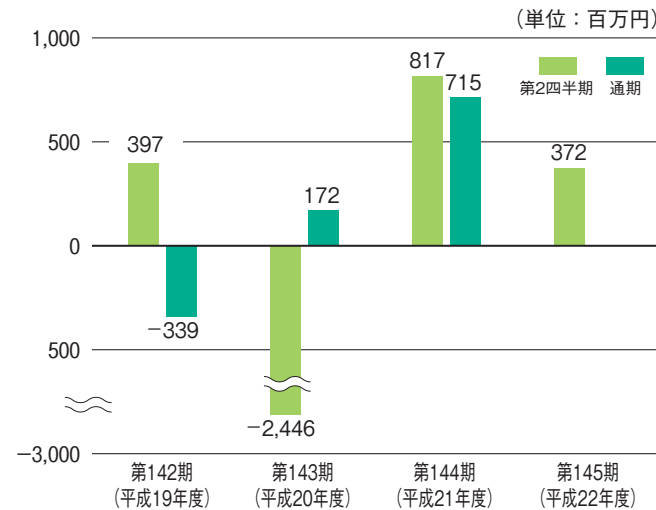
第3回松竹歌舞伎検定
検定大使に林家正蔵氏が就任
©松竹株式会社

連結決算ハイライト

売上高

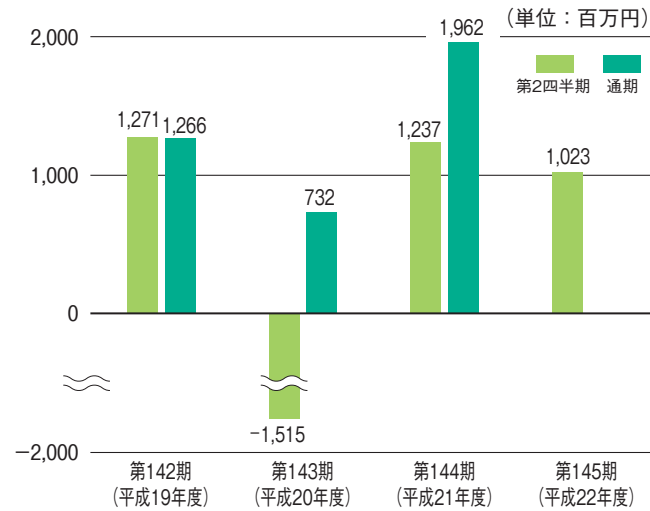


当期純利益

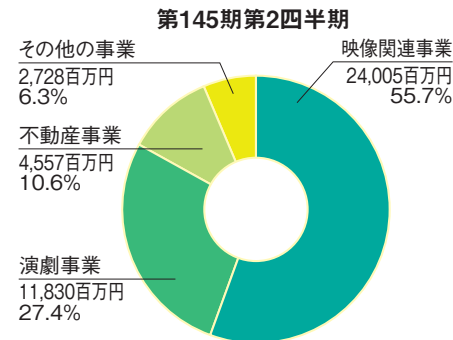


* グラフ内の「第2四半期」とは「第2四半期連結累計期間」のことを指します。

経常利益



事業別売上



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第2四半期末 (平成22年8月31日)	科目	当第2四半期末 (平成22年8月31日)
資産の部		負債の部	
流動資産	35,313,718	流動負債	20,730,618
現金及び預金	11,703,820	支払手形及び買掛金	7,774,456
現金及び預金(責任財産限定対象)	3,573,923	短期借入金	780,900
信託預金(責任財産限定対象)	3,516,760	1年内返済予定の長期借入金	3,978,008
受取手形及び売掛金	6,164,501	1年内返済予定の長期借入金(責任財産限定)	745,000
有価証券	4,701,130	未払法人税等	214,657
商品及び製品	1,643,245	賞与引当金	289,300
仕掛品	304,677	その他	6,948,295
原材料及び貯蔵品	127,426	固定負債	85,153,731
その他	3,603,998	社債	1,100,000
貸倒引当金	△ 25,767	社債(責任財産限定)	10,000,000
固定資産	137,439,182	長期借入金	35,831,121
有形固定資産	105,437,117	長期借入金(責任財産限定)	29,050,000
建物及び構築物	22,841,702	退職給付引当金	1,203,015
信託建物(責任財産限定対象)	14,570,427	役員退職慰労引当金	628,021
設備	15,089,550	その他	7,341,572
土地	23,524,550	負債合計	105,884,349
信託土地(責任財産限定対象)	18,751,834	純資産の部	
建設仮勘定(責任財産限定対象)	7,576,864	株主資本	67,099,303
その他	3,082,186	資本金	33,018,656
無形固定資産	2,361,574	資本剰余金	30,066,741
のれん	579,023	利益剰余金	5,258,083
その他	1,782,551	自己株式	△ 1,244,178
投資その他の資産	29,640,490	評価・換算差額等	△ 376,615
投資有価証券	10,842,721	その他有価証券評価差額金	△ 376,615
長期前払費用(責任財産限定対象)	8,442,215	新株予約権	71,712
その他	10,587,788	少数株主持分	125,883
貸倒引当金	△ 232,234	純資産合計	66,920,284
繰延資産	51,733	負債純資産合計	172,804,633
資産合計	172,804,633		

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期累計期間 (平成22年3月1日から 平成22年8月31日まで)
売上高	43,121,481
売上原価	24,167,602
売上総利益	18,953,878
販売費及び一般管理費	17,124,668
営業利益	1,829,209
営業外収益	290,689
受取利息	34,058
受取配当金	84,842
負ののれん償却額	24,505
その他	147,282
営業外費用	1,096,181
支払利息	758,077
借入手数料	75,246
持分法による投資損失	56,395
その他	206,462
経常利益	1,023,717
特別利益	107,709
固定資産売却益	96,960
貸倒引当金戻入額	10,748
特別損失	102,524
固定資産除却損	18,662
投資有価証券評価損	83,862
税金等調整前四半期純利益	1,028,902
法人税、住民税及び事業税	112,155
法人税等調整額	564,488
少数株主損失	△ 20,020
四半期純利益	372,278

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

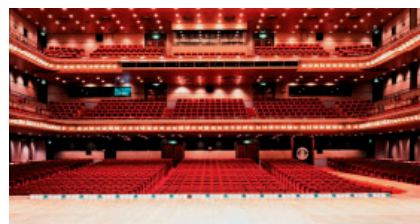
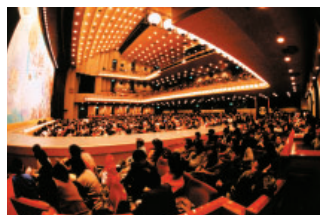
(単位：千円)

科目	当第2四半期累計期間 (平成22年3月1日から 平成22年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,576,085
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 22,049,141
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,377,207
現金及び現金同等物の減少額	△ 2,095,848
現金及び現金同等物の期首残高	18,127,921
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,032,073

歌舞伎座から新橋演舞場へ ～新たな歌舞伎の中心 新橋演舞場～



©松竹株式会社



本年4月の歌舞伎座閉場にもない、新橋演舞場はこの先の約3年間、歌舞伎興行の本拠地として、多彩な歌舞伎を上演して参ります。その印として、新橋演舞場「五月花形歌舞伎」の初日から劇場正面に「櫓（やぐら）」を据え置いております。芝居小屋の櫓は、江戸時代、幕府公認の劇場である証を意味し、その伝統を引き継いだ歌舞伎座の櫓がおなじみでしたが、この度、新橋演舞場にお目見えいたしました。劇場の座紋である「雪月花」を染め抜いた幕を配し、ご観劇にいらっしゃるお客様を日々お迎え申し上げております。また歌舞伎公演の際には、劇場正面に昼夜の演目ごとの登場人物や芝居の一場面を描いた「絵看板」も掲げております。

ご来場頂くお客様はもちろん、劇場近辺を散策される方々にも歌舞伎公演の常設劇場としての賑いを創出いたしております。

ゴースト

もういちど抱きしめたい

1990年に劇場公開され、日本中を涙で包んだラブストーリーの名作『ゴースト ニューヨークの幻』が、舞台を日本に移し、新たに生まれ変わります。

ヒロインの星野七海を演じるのは、日本を代表する女優、松嶋菜々子。そして、七海と恋に落ちる韓国人の青年・ジュノ役に、日本や韓国で絶大な人気を誇るソン・スンホン。

愛する人をもういちど抱きしめたい、「愛している」と伝えたい。もう二度と触れることができないと知りながらも、お互いを想い続ける二人。人と人とのつながりが希薄になりつつある今だからこそ、二人の純粋でひたむきな姿が、観る人の心に強く響きます。そして、大谷太郎監督がこの作品を撮る上で一番大事にしたという、二人の「視線」にも注目です。この秋、大切な人と観てほしい、切なくて儂い奇跡のラブストーリー。



©2010「ゴースト」製作委員会

松嶋菜々子 ソン・スンホン
樹木希林

監督：大谷太郎

配給：パラマウント ピクチャーズ ジャパン 松竹

2010年11月13日(土) 全国ロードショー

武士の家計簿

激動の時代を、刀ではなくそろばんを用い、知恵と愛で生き抜いた家族の姿が、168年前の実在の〈家計簿〉から今、甦ります。世の中の秩序や価値観が大きく変化した時代を乗り越えた猪山家の生き方は、金融破綻、地価下落、リストラ、家族の断絶や孤独死など、様々な社会問題に直面する現代の私達にもヒントや勇気を与えてくれます。

監督は、常に時代を様々な角度から切り取ってきた森田芳光。「本作には、親子の絆や教育、夫婦の愛、食卓の風景など、“家族”の姿が満載。江戸から明治という背景を借りた、日本人の家族のDNAが詰まった作品」と語ります。

7月から行ってきたマスコミ試写は連日異例の満席となり、“古き佳き松竹映画の源流を引き継ぐホームドラマの名作”との声も相次いでいます！



©2010「武士の家計簿」製作委員会

堺雅人 仲間由紀恵
松坂慶子 西村雅彦 草笛光子
中村雅俊

監督：森田芳光

原作：磯田道史『武士の家計簿「加賀藩御算用者」の幕末維新』（新潮新書刊）

2010年12月4日(土) 全国ロードショー

会社の概要

商号 松竹株式会社
 設立 大正9年11月
 資本金 33,018,656,642円
 従業員数 603名

本社、支社および営業所

本社 東京都中央区築地四丁目1番1号
 電話 03-5550-1533 (総務課)
 関西支社 (大阪)
 九州営業所 (福岡)

当社ホームページ

<http://www.shochiku.co.jp/>

役員

代表取締役会長 大谷信義
 代表取締役社長 迫本淳一
 専務取締役 野田助嗣
 専務取締役 安孫子正
 常務取締役 中島厚
 常務取締役 細田光人
 取締役相談役 上條清文
 取締役 油谷昇
 取締役 荒牧大四郎
 取締役 武中雅人
 取締役 井手良樹
 常勤監査役 岡田敏明
 監査役 柏木俊彦
 監査役 中川勝弘

グループ会社一覧

連結子会社

- ・松竹衣裳 (株): 舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)松竹サービスネットワーク: 映画関連グッズの販売、各種イベントの企画製作および運営、不動産管理・清掃、フラワー事業、損害保険の代理、警備、旅行者代理業
- ・松竹関西サービス (株): 不動産管理・清掃
- ・(株)ショウビズスタジオ: 舞台、映画、テレビ、ラジオの番組企画・製作並びに音響効果の企画・製作・再生
- ・中映 (株): 浅草中映劇場他4スクリーンの映画館運営
- ・松竹芸能 (株): タレント・俳優の養成並びにマネージメント、演劇・テレビドラマ・イベントの企画・製作
- ・(株)衛星劇場: CS・CATV放送、ソフト製作・編集【衛星劇場・ホームドラマチャンネル】
- ・(株)松竹京都撮影所: 劇場用映画・テレビ映画の製作、短編・CM映画の製作並びに請負
- ・(株)松竹デジタルセンター: 映像制作、編集およびDVDオーサリング
- ・(株)松竹マルチプレックスシアターズ: 複合映画館 (シネマコンプレックス) の開発・運営
- ・(株)トライメディア: 劇場上映のCMの制作および送出、その他のマルチメディア全般の企画開発等
- ・松竹音楽出版 (株): 映画音楽の制作並びに音楽著作権の管理
- ・歌舞伎座舞台 (株): 演劇舞台の大道具製作・販売
- ・(株)松竹ニューセレクト: 複合映画館「MOVIX本牧」(8スクリーン)の映画館運営
- ・(株)関西美術: 演劇舞台の小道具製作・賃貸
- ・日本演劇衣裳 (株): 舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)歌舞伎チャンネル: CS・CATV放送局、ソフト製作・編集
- ・(株)松竹エンタテインメント: 俳優・芸能タレント・音楽家・スポーツ選手・アーティストの育成並びにマネージメント
- ・匿名組合築地ビルキャピタル: ADK松竹スクエアの賃貸借および管理
- ・KSビルキャピタル特定目的会社: 資産流動化法に基づく特定資産 (歌舞伎座建替え計画におけるオフィス部分) の開発・賃貸借・管理に係る業務

持分法適用会社

- ・(株)サンシャイン劇場: サンシャイン劇場の賃貸、演劇・映画の興行他
- ・札幌シネマフロンティア(株): 複合映画館「札幌シネマフロンティア」(12スクリーン)の運営
- ・(株)イヤホンガイド: 演劇劇場内イヤホンガイドサービス
- ・日本映像振興 (株): 映像関連イベントの企画・運営
- ・(株)歌舞伎座: 歌舞伎座その他事務所・店舗の賃貸
- ・新橋演舞場 (株): 新橋演舞場その他の事務所・店舗の賃貸
- ・インターローカルメディア(株): 放送法による委託放送業務及びその他の放送一般事業

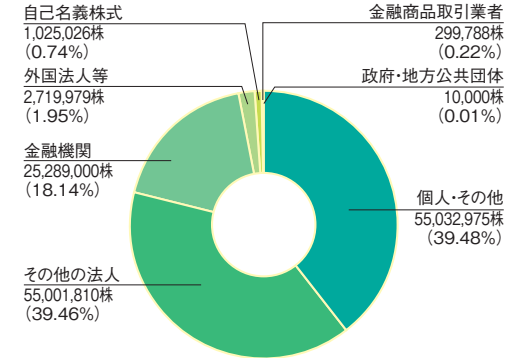
株式の状況

発行可能株式総数 300,000,000株
 発行済株式の総数 139,378,578株 (自己株式1,025,026株を含んでおります。)
 株主数 20,784名 (前事業年度末比1,787名増)
 大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社歌舞伎座	4,802千株	3.47%
株式会社みずほコーポレート銀行	4,500	3.25
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,344	3.14
セコム株式会社	3,700	2.67
三井物産株式会社	3,700	2.67
株式会社大林組	3,600	2.60
大成建設株式会社	3,444	2.49
清水建設株式会社	3,390	2.45
西松建設株式会社	3,288	2.38
株式会社TBSテレビ	2,542	1.84

(注)持株比率は自己株式(1,025,026株)を控除して計算しております。

【所有者別株式分布表】



株主優待基準

【株主優待権利確定日および優待期間】

権利確定日	優待期間
毎年2月末日	毎年6月～同年11月
毎年8月末日	毎年12月～翌年5月

※6ヶ月ごとに株主様へ優待内容通知をご送付いたします。

【映画優待 ポイント付与基準】

保有株式数	6ヶ月優待ポイント数 (1ヶ月使用可能ポイント数)	
1,000株以上	80ポイント	(40ポイント)
2,000株以上	160ポイント	(60ポイント)
3,000株以上	200ポイント	(80ポイント)
5,000株以上	280ポイント	(100ポイント)
8,000株以上	400ポイント	(120ポイント)
10,000株以上	480ポイント	(140ポイント)

【演劇優待 枚数基準】

保有株式数	6ヶ月優待枚数
3,000株以上	2枚
5,000株以上	4枚
8,000株以上	6枚
10,000株以上	8枚
15,000株以上	12枚
20,000株以上	16枚

※「6ヶ月優待ポイント数」とは、優待権利期間の6ヶ月の間に使用できるポイント総数です。

そのポイント総数の内、1ヶ月に使用できる上限のポイント数を示しているのが、「1ヶ月使用可能ポイント数」です。

※1名様につき、10ポイントが必要となります。なお、「新宿ピカデリー」のみ1名様20ポイントが必要となります。

新宿ピカデリーは公開の2週目(8日目)以降から利用可能です。「プラチナシート」・「プラチナルーム」はご利用になれません。

株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月下旬
株主確定基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当 2月末日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
単元株式数	1,000株
公告の方法	東京都において発行する日本経済新聞

【お知らせ】

ご注意

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

● 1単元（1,000株）未満の株式をお持ちの株主様へ [買増・買取制度のご案内]

当社株式の証券市場での取引は1単元＝1,000株となっているため、単元未満株式を市場で売買することはできません。このため、当社では、1単元（1,000株）に不足する株式を買い増して、1,000株にまとめることができる「単元未満株式の買増制度」、1,000株に満たない株式を当社へ売却することができる「単元未満株式の買取制度」をご用意しております。

お手続きの方法

- ① 当社株式を証券会社の口座でお持ちの株主様
お取引の証券会社へお問合せください。
- ② 上記以外、特別口座をお持ちの株主様
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル) へお問合せください。

● 特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要がございます。
お手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部へお問合せください。